

11

「観光立国」に 欠かせない 港の資源と要素の活用

港がもっている機能性や歴史的な資源、
あるいは海の自然の要素を活用することで、
港を含む地域は観光の魅力あふれる場に変身する。
港は新しい地域づくりに欠かせない場所。

クルーズ船が寄港したくなる港の整備＝観光の魅力あふれる「みなとまちづくり」

「観光立国」実現のための政府全体の動きとも連携して、港湾における観光・地域振興を図る

観光の場としての魅力の向上

みなとの資源の活用

- ・歴史的港湾環境創造事業
- ・港湾景観形成モデル事業
- ・パブリックアクセス事業
- ・みなとまちづくり 等

体験型観光の振興

- ・海辺の自然学校の展開
- ・マリナーなど海洋性レクリエーションの振興

等

交通拠点としての機能の向上

旅客の利便性の向上

- ・ユニバーサルデザインの導入
- ・情報提供機能の強化
- ・フェリーターミナルの整備

等

クルーズの振興

- ・クルーズネットワークの形成
- ・旅客船ターミナルの整備
- ・背後観光地、都市部との連携

等

【歴史的遺産を活用した景観形成】



北九州港 歴史的港湾施設を保全・活用しながら良好な景観を形成

【みなとまちづくり施策】



室蘭港 港湾施設を活用し市民との協働により、活力ある地域を創出

【みなとのパブリックアクセスの向上】



清水港 人々が「みなと」へ自由にアクセスできるよう都市からのアプローチ、プロムナード等の整備

【クルーズの振興】



横浜港 国際クルーズによる観光を通じた地域振興を図る旅客船ターミナルの整備

外航クルーズ船寄港の実態

旅客船専用バース未整備による
寄港地としての魅力の低下

コンテナバースに接岸する
「スーパースターエーリス」
手前にはガントリークレーン
(那覇港新港ふ頭地区)

